

## エフエム群馬放送番組審議会議事録

1 開催年月日 令和3年11月9日(火) 14時00分～15時15分

2 開催場所 GNビル5階 エフエム群馬会議室

### 3 委員の出欠

委員総数 7名

出席委員 5名

#### 出席委員の氏名

小 淵 紀久男 委員長

小 林 徹 副委員長

藤 田 一 幸 委員

串 田 洋 介 委員

須 田 真 理 委員

#### 放送事業者側出席者名

塚 越 正 弘 代表取締役社長

金 井 政 人 取締役

若 井 孝 仁 編成部長

森 田 藍 子 事務局(編成部員)

角 田 侑 子 事務局(編成部員)

### 4 議 題

(1) あいさつ

(2) 報告・説明

(3) 意見交換

### 5 議事の概要

(1) あいさつ(小淵委員長)

ア 本日も気兼ねなく意見の交換をよろしくお願いします。

(2) 報告・説明(若井編成部長)

#### <実施特番・企画>

■「衆議院議員総選挙開票特別番組」

10/31(日) 20:00～22:00で放送

■「群馬マスコミ3社 家族で話そう特殊詐欺ゼロキャンペーン」

10月 上毛新聞社×群馬テレビ×エフエム群馬

■「特別番組 148neo・BAKADAY の為に～それぞれの挑戦～」

10/16 (土) 19:00～20:55

出演：高橋和実 竹村淳矢 櫻井三千代 他 提供：各社

■高崎健康福祉大学からの公開生放送&イベント

10/23 (土) お笑いステージ 出演：あばれる君 他

10/24 (日) ラジオ公開生放送 13:00～13:55

番組+YouTubeで配信

■「群響アワー」 10/21 (木) 20:00～21:55

10/3 (日) 開催の群響定期演奏会を収録し特番化

■「FM FESTIVAL 2021 竹内まりや RADIO

Turntable presented by 楽天カード」

11/3 (水祝) 16:00～19:00 出演＝竹内まりや 山下達郎他

■ザスパ中継 11/7 (日) 19:00～21:05 今季最後の中継

<今後の放送・イベント予定>

■ロッカーズ2021 決勝大会 11/14 (日) 高崎クラブフリーズ

無観客で実施 特番 11/27 (土) 19:00～20:55

■スーパーセンターフィール (藤岡) からの公開生放送

11/20 (土) 12:00～12:55 出演＝G★FORCE主演者 他

■前橋中心商店街ツナガリズムまつり イベント&放送 12/11 (土)

9:00～9:55 「G-WALK+PARK in ツナガリズムまつり」

13:00～13:55 「ツナガリズムまつり」特番放送

## 6 番組試聴

### (1) 試聴番組

報道特番 ～多頭飼育崩壊の現状 もう一度考える命との向き合い方～

放送日時：9月20日 (月祝) 19:00～19:30

出演：揚妻由璃子 (取材・制作含む)

近年、県内を含め全国各地で問題になっている『多頭飼育崩壊』。そんな多頭飼育崩壊の現状を、当事者や獣医師、ボランティアの声を交えて放送した30分の報道特別番組。

## 7 意見交換

(1) 意見内容

ア 報告を受けての意見

特になし

イ 試聴番組についての意見

- ・「エフエム群馬報道特番」は、定期的に放送されているのか。

<エフエフ群馬の回答>

日々取材を重ねていく中で、よりリスナーに届けたいという題材に出会ったときに、報道特番を制作している。

- ・報道特番は不定期に制作しているということだが、チャレンジをしていって欲しい。インタビュー含め、現場の猫犬の鳴き声等や録音が出来ていた点が良かった。
- ・深刻なテーマなので、30分間という放送時間は適当であると思う。
- ・動物を保護する側の保健所や動物愛護団体だけでなく、多頭飼育崩壊当事者や、多頭飼育崩壊現場近くの住人、また、保護された猫を引き取った里親などを取材していて、1つの問題に対して多角的にとらえられているのがよかった。現場に行ってみて取材しているのがよくわかった。
- ・自分自身はペットを飼っていないが、このような情報を放送で流すことは必要だと思う。
- ・身近に多頭飼育の話題や状況が無いので、現実的な問題として感じ難かった。客観的な数値での説明もあると良かった。他県との殺処分数など比較も参考になるのでは。
- ・1つの問題を取材した者の意見としてではなく、多角的に捉えようとしていた。
- ・今回は動物を取り上げているが、人間の事に入り込んでいて2段階の構成になっていた。人間の問題の部分を深く掘り下げていってもよかった
- ・報道番組等で、他にも身近な問題、例えば日本で生活している外国人の困り事や、マナー全般、障害者への取材など、身近な内容を取り上げてみてもいいのでは。
- ・センセーショナルにではなく、品位を保って伝えていた。マスコミはセンセーショナルに問題を取り上げるが、今回のようにクールに扱うという姿勢を貫いてほしい。

- ・題材の本質が良く分かった。視点が幾つもあり、多頭飼育の言葉は知っていながらも、その内容や問題点について詳しくは知らなかったので学びになった。
- ・こうしたものでは、飼育者＝悪、ボランティア＝善の「善悪」でとかく伝えがちだが、人付き合いの部分から起因しているというのがわかった。人がペットに求めるものは今後も永遠に続くので、人に問題があるというのを伝えるのは必要であると感じた。
- ・事実が淡々と述べられていて、こうあるべきという意見の押し付けがなかったのも、多頭飼育崩壊という問題に対して、リスナーが自分自身で考える出発点となる番組になったのではないかと。
- ・映像があるテレビで見るとわかりやすいが、その分映像の印象が強に残ってしまう。今回はラジオで取り扱う事で、人へ焦点が当たっていた。
- ・ビジュアルで見せられない分、音でペットの鳴き声が入ったり、譲渡会会場の子供の声などで内容が伝わってきた。
- ・難しいテーマなので、ナレーションの声トーンが非常に難しかったのではないかと。あれほどトーンを落とさなくてもよかったのでは。
- ・多頭飼育に陥ったり、実際に困った時の相談先の情報があってよかった。
- ・愛護団体の活動や地域猫的な内容のものなど取材内容は多岐に広げられる。

#### ウ その他の番組への意見

特になし

#### エ エフエム群馬全体に対する意見

特になし

#### 8 審議機関の答申又は改善意見に対して取った措置及び年月日

答申又は改善意見なし。

#### 9 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

(1) 放送 11月27日(土) 20:55 番組審議会報告番組内

(2) 書面 11月30日(火) 上毛新聞に掲載

本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム群馬ホームページ内

令和3年11月18日 議事録確認

エフエム群馬放送番組審議会

委員長 小淵 紀久男